

B 日 程

〈出典一覧〉

- 国語 豊永郁子 「政治季評」一部改変 朝日新聞 2022年2月17日
- 国語 菊地靖彦 木村正中 伊牟田経久 校注・訳者 「蜻蛉日記」(『土佐日記 蜻蛉日記』新編日本古典文学全集 13 所収) 小学館
- 国語 久野愛 『視覚化する味覚——食を彩る資本主義』一部改変 岩波新書

問 6
魔法のように唾液腺を刺激する」とあるが、これはどのようなことか、もっとも適切なものを次の中から選び、その記号をマークしなさい。解答番号は 46

- ア 想像を超えるほどに食欲をそそること
- イ 異常なほどに所有欲を抱かせること
- ウ 予想通りに条件反射を導き出すこと
- エ 不思議なほどに購売欲をかきたてること
- オ 怖いくらいに自制心がきかなくなること

問 7
⑤ 視覚化された幻想としての豊かさや自然」とあるが、「幻想」と筆者が述べるのはなぜか、その説明としてもっとも適切なものを次の中から選び、その記号をマークしなさい。解答番号は 47

- ア 陳列されている食品は本物ではなく、消費者が購入することはできないから
- イ 現代の消費者は食品を買うことよりも、目で見ても楽しむ方に重点を置くから
- ウ 陳列物が喚起させるイメージは、所詮は小売業者の販売戦略によるものだから
- エ 大量の食品を生み出している自然の豊かな力は、人々が想像するよりほかはないから
- オ 販売者も消費者も、陳列された大量の食品の多くは廃棄されると知っているから

問 8
⑥ 「記号として消費した」とあるが、この内容を説明するものとして、もっとも適切なものを次の中から選び、その記号をマークしなさい。解答番号は 48

- ア 実体のないイメージを受け取ることにも意味を見出すようになったことで、人々はモノに二重の価値を見出すようになったということ
- イ 実体としてのモノを消費するだけでなく、そのモノに付加されたイメージの働きによって生じた新たな価値を志向するようになったということ
- ウ 付加されたイメージを人々が新たな価値として認めることによって、モノが実体のないもののように受け取られるようになったということ
- エ カラフルなモノを物理的に買って消費すると同時に、そのモノが持つ文化的背景までも人々が重視するようになったということ
- オ 物理的のみならず実体のないイメージを表象するものとして人々がモノを消費するようになったことこそが、まさに豊かさの象徴になったということ

- 26 -

- 25 -

問 9

本文の内容と一致するものには①を、一致しないものには②を、それぞれマークしなさい。解答番号は 49～53

49 それぞれの果物に対し我々がイメージする色は、技術革新を含む文化的産物であり、本物の自然とはほど遠いものである

50 オレンジの広告の宣伝文句に使用されたことで、「ビタミン」という言葉とその栄養価が世に広く知られるようになった

51 ブランド名を付けるということは「ただのオレンジ」を差異化し、他との区別によって商品価値を押し上げる手段である

52 人々がオレンジに見出した「再発見された自然」とは、バナナの黄色と異なり、オレンジの色が天然由来のものであるということである

53 オレンジが持つに至った「記号性」とは即ち、ポードリヤールが言うところの「再発見された自然」「無尽蔵の潤沢さ」である

- 27 -

うブランド名で売り出した。この後、バナナの「チキータ」など農産物にブランド名をつけることが一般化していくことになる。特定の生産地域や生産者（協同組合）と結びつけることで、そのブランド名がついた商品が常に高品質であることを、全国市場において、特に顔の見えない不特定多数の消費者に訴えることを企図したのである。

バナナの広告がカラー印刷を使って黄色い色をバナナの象徴として描いたように、明るいオレンジ色で描かれたオレンジが広告など印刷メディアを彩った。これは、オレンジの完熟具合や新鮮さを視覚的に表し、「あるべき（自然な）色」が象徴的に描かれたものでもあった。歴史家グラス・サックマンは、カリフォルニアのオレンジ産業に関する研究の中で、C F G E は、オレンジの生産・実際の果物 および表象（広告など）を通してオレンジを技術のおよび文化的産物として作り出したと論じている。そして、「自然と文化のハイブリッド（混成）」としてのオレンジは、人々が普段生活で目にする視覚環境、そして果物の色に対する見方をも変化させた。農業技術の発展によって物理的にオレンジを改良するとともに、オレンジ色で表象された果物は健康、新鮮さ、自然のシンボルとして構築されていったのである。

果物と色とを視覚的に結びつけ、オレンジを文化的産物として作り出したのは、広告や料理本だけではない。特に二〇世紀初頭の都市部では、道行く人々の注意を引くため、食料品店のショーウィンドーに様々な商品を並べ、顧客を店に引き入れることが行われていた。現在でも、例えばデパートや宝石店のショーウィンドーなどは、季節ごとにファッショントレンドを取り入れた目にも楽しいディスプレイを見ることができている。こうしたショーウィンドーは、すでに一九世紀末頃にはパリなどヨーロッパを含め、都市の新たな視覚環境の一部として誕生していた。今ではファッション関連のショーウィンドーが多いが、二〇世紀初頭には、食料品店の入り口近くに飲食物が並べられることもあり、オレンジもウィンドーを飾るために用いられた。

当時の広告代理店によると、明るく色づいたオレンジをたくさん並べることで、人目を引いたり店を魅力的に見せたりするだけでなく、大量に仕入れられていることから値段が安いと思わせる効果があったという。後に二〇世紀半ばのデパートのショーケースに並んだ商品についてジャン・ボードリヤールは、「食料品や衣類のお祭り騒ぎは魔法のように唾液腺を刺激する」と述べ、さらに「市場、商店街、スーパーは、異常なほど豊かな、再発見された自然を装い、「見世物的で無尽蔵の潤沢さのイメージ」を作り出している」と論じた。これらは、半世紀ほどたった食料品店のディスプレイとは規模も内容も異なるものの、ボードリヤールのいうように「見世物的」で「再発見された自然」、「無尽蔵の潤沢さ」は、すでにオレンジやその他の食品を敷き詰めた当時のショーウィンドーが物語っている。都市を行き交う人々は、日常的に視覚化された幻想としての豊かな自然を目にし、カラフルなモノを物理的に商品として、また豊かさを象徴する記号として消費したのである。

（丸野愛「視覚化する味覚——食を彩る資本主義」）

問1 a・bの読みをひらがなで記しなさい。解答番号は a | 40 b | 41

40 企図 41 潤沢な

問2 ①「色彩教育」とあるが、この色彩教育の結果どのようなことが起きたか、適切なものを次の中から二つ選び、その記号をマークしなさい。解答番号は 42

- ア バナナ販売に黄色い皮をつけた擬人化キャラクターが考案され使用されるようになった
- イ フルーツ輸送会社の説明やポスターによって、店頭売りのバナナが少し青いうちに出されるようになった
- ウ 消費者向けだけでなく、果物の卸問屋や小売店に向けても、バナナの色についてのチラシや冊子が配付された
- エ 売り手も買い手も、ある果物のあるべき色彩は新鮮さや熟し具合を示すパロメータになると認識した
- オ 果物の色が販売戦略に使えるものだととして、生産者や広告業者がある果物の色彩を指定するようになった

問3 空欄 X には同じ語がはいる、もつとも適切なものを次の中から選び、その記号をマークしなさい。解答番号は 43

- ア 最適な
- イ 基本的な
- ウ 本来の
- エ 妥当な
- オ 最高の

問4 ②全国市場において、特に顔の見えない不特定多数の消費者に訴えることとあるが、このような消費者に訴えることが可能になったのはなぜか、その説明としてもつとも適切なものを次の中から選び、その記号をマークしなさい。解答番号は 44

- ア 鉄道が整備され輸送手段が発達したから
- イ 家政学や栄養学への関心が高まったから
- ウ 産物にブランド名をつける宣伝戦略が普及したから
- エ 産物の品質を保証することが可能になったから
- オ カラー印刷を使用した広告の色彩表現が変化したから

問5 ③「自然と文化のハイブリッド（混成）」とあるが、自然の産物であるはずのオレンジの、オレンジ色が文化の産物と言える理由は何が、本文中の語句を用いて、「オレンジ色」から始まる形で二十字以内で説明しなさい。解答番号は 45

問 8 空欄 X にあてはまる語として、もっとも適切なものを次の中から選び、その記号をマークしなさい。解答番号は 32

- ア まほしから
- イ まほしく
- ウ まほしかり
- エ まほしかる
- オ まほしけれ

問 9 いみじき雨いよまさりなれば、いふかひもなし を現代語訳しなさい。解答番号は 33

問 10 本文の内容と一致するものには①を、一致しないものには②を、それぞれマークしなさい。解答番号は 34～38

- 34 作者は旅で疲れ果てて頭痛がし、美しい光景を見ても心が安まらなかった
- 35 宇治川の鵜飼の光景を見ながら、我身に思いを馳せ作者は眠れなかった
- 36 宇治川の鵜飼と共に、いさりで魚をとる方法も作者には面白く思われた
- 37 初めての初瀬詣の折に見た贅野の池や泉川とは、その姿が変わっていた
- 38 春日参詣の宿坊は整えられており、一行はそこに一泊して出立をした

問 11 「蜻蛉日記」よりも後に成立した作品を次の中から一つ選び、その記号をマークしなさい。解答番号は 39

- ア 続日本紀
- イ 土佐日記
- ウ 竹取物語
- エ 紫式部日記
- オ 伊勢物語

第三問 選択問題 現代文

次の〔前段のあらすじ〕と〔本文〕を読んで、あとの問いに答えなさい。

〔前段のあらすじ〕

当時広く読まれた一八八四年刊行の料理本には、赤色のバナナを材料の一つとしたデザート・レンジが掲載されていた。このことから、バナナには黄色と赤色の少なくとも二種類があるという認識が、ある程度共有されていたと考えられる。二〇世紀初頭までにバナナの生産・消費が拡大していくにつれ、アメリカの生産・輸送業者は黄色種のバナナのみを特化して大規模生産を始めたが、その理由は赤い品種が傷つきやすく長距離輸送に向かなかったためである。

〔本文〕

アメリカで黄色いバナナのみが食品売り場にならざるや同時に、料理本や広告、その他様々なメディアで描かれるバナナはほとんどが黄色で表現されるようになった。バナナ輸入会社の広告や冊子の中には、消費者にバナナの食べ頃の色をイラストつきで解説するものがあつたのだが、それらは全て黄色のバナナであつた。ユナイテッド・フルーツ社がマーケティングのために作り出した、バナナを擬人化したキャラクター「チキータ」も黄色い皮を身につけている。こうして、多くの人々にとって、普段の買い物や食卓、広告などで目にする黄色いバナナが「自然な」色として広まったのである。

こうした「色彩教育」は消費者に対してのみ行われたわけではない。果物の卸問屋や小売店に向けてもバナナの「 X」色について教えるチラシや冊子が配布された。例えば、あるフルーツ輸送会社は、食料品店向けにバナナの色と熟し具合を説明したポスターを配布し、店の倉庫からいつバナナを売り場に移動させるかの目安を周知するなどしていた。皮に緑色が少し残りお

およそ黄色く色づいている状態が、店頭に並べる X タイミングだとされた。これは、生で食べるには早すぎるが、数日間店頭で並べておける熟し具合で、熟すぎたものを廃棄するロスを減らすことができ、利益率の向上につながつた。消費者の多くが、ある特定の色をその食べ物の「自然な」色だと認識するようになったことで、新鮮さや熟し具合を示す色は、生産者や販売者らにとって市場価値を持つ販売戦略の一つとして用いられるようになったのである。

バナナがアメリカで地域や階級を超えて多くの消費者に広まり始めた同じ頃、今日広く親しまれている果物の一つオレングも、日常生活として消費量が拡大していった。バナナのように、オレングも長距離輸送が難しく、生産拠点となっているフロリダ州やカリフォルニア州から遠い地域では高価な果物であつた。例えばクリスマスプレゼントとしてオレングを子供たちに渡す習慣があるなど、特別な日に食べるものだったのだ。

だが一九一〇年代までに国内の大規模鉄道が整備され、次第にオレングの消費が広まっていった。オレングの宣伝も積極的に行われ、カリフォルニア州最大の柑橘類協同組合であるカリフォルニア青果協同組合(California Fruit Growers Exchange、以下C F G E)は、同州を拠点に置く鉄道会社、サザン・パシフィック鉄道の資金援助を得て大規模な広告キャンペーンに乗り出した。当時は、家政学や栄養学が(特に女性が学生仲間として)大学で広く教えられるようになり、「ピタミン」という言葉が一般的に使われるようになっていた。このため、オレングの栄養価を宣伝文句に取り入れるなどして販売促進が図られた。「ピタミン」という語をアメリカで初めて広告に取り入れたのがC F G Eだといわれている。

それまで農業生産者や広告代理店の間では、果物など農産物は広告をする価値はないという考え方が一般的であつた。オレングは「ただのオレング」であり、果物や野菜は特別な宣伝文句をつけて売り出したり、それによって消費を促進できたものとは考えられていなかったのだ。まして、ブランド名やトレードマークをつけることなど考えられもしなかつた。だが一九〇八年、C F G Eの宣伝を担当していた広告代理店が、オレングにブランド名をつけて売ることの思いつき、当協同組合を通して販売されるオレングを「サンキスト」(英語ではSun-kistで、Tread by the sun「太陽にキスされる」)をもじつたものとい

(一) 次の問いに答えなさい。

問1 次の傍線部に相当する漢字を含むものを、それぞれ各群のア～エの中から一つずつ選び、その記号をマークしなさい。解答番号は [16]～[18]

[16] 体制をサツシンして企業の再建を図る
ア 写真のサツエイを行う
イ 経済マサツを回避する
ウ ニュウサツに参加する
エ 本のシュクサツ版をつくる

[17] カンメンな動作をする
ア 問題をカンメイに述べる
イ カンキユウを使いわけ
ウ カンカできない事態
エ 部屋をカンキスる

[18] これまでの定説をクツガエす新説
ア フクメンをかぶり変装する
イ フクチョウのきざしをみせる
ウ 趣味をフクギョウに活かす
エ フクゴウした問題を解決する

問2

次の空欄 [X]、[Y] にはいるものを、それぞれア～オの中から一つ選び、その記号をマークしなさい。解答番号は X [19] Y [20]

[19] そのような言い方は身も [X] もない。

ア 蓋 イ 心 ウ 花 エ 瀬 オ 世

[20] 「前代未聞」の類義語は [Y] である。

ア 竜頭蛇尾 イ 千載一遇 ウ 多種多様 エ 空前絶後 オ 不即不離

第二問【読解問題 古文】

次の文章は天禄二（九七二）年七月、三十六歳になった作者が、父の藤原倫寧と共に、二度目の初瀬詣に出かける場面を書いたものである。これを読んで、あとの問いに答えなさい。なお、*印の付いた語句については、注を参照しなさい。

さて、七八日はかりありて、初瀬へ出で立つ。^①巴の時ばかり、家を出づ。人いと多く、きらぎらしてもすめり。未の時ばかりに、この按察使大納言の領したまひし宇治の院にいたりたり。人はかくてののしれど、わが心はづかにて、見ぬらせば、あはれに、心に入れてつくろひたまふと聞きしところぞかし、この月にこそは、御はくはしつらめ、ほどなく荒れにたるかなと思ふ。このあづかりしもの、まうけをしたれば、立てたるもの、このなめり見るもの、みくり簾、網代屏風、黒柿の骨に朽葉の帷子かけたる几帳どもも、いとつきつきしも、あはれとのみ見ゆ。困じにたるに、風は私ふやうに吹きて、頭さへ痛きまであれば、風隠れ作りて、見出だしたるに、暗くなりぬれば、鵜舟ども、かがり火さともしつづ、ひとかはさし行きたり。をかしく見ゆることかぎりなし。頭の痛さの紛れぬれば、端の簾巻きあけて、見出だして、あはれ、わが心と詣でしたび、かへさに、*あがたの院にぞゆき帰りせし、こになりけり、ここに按察使殿のおはして、ものなどおこせたまふめりしは、あはれにもありけるかな、いかなる世に、さだにありけむと思ひつづければ、目も合はば夜中過ぐまてながむる。鵜舟どもの上り下りゆきちがふを見つづは、^②うへしたとこがることをたづぬれば胸のほかに鵜舟なりけり

などおほえて、なほ見れば、あかつきがたには、ひきかへていさりと、いふものをぞする。またなくをかしくあはれなり。明けぬれば、急ぎ立ちてゆくに、鶯野の池、泉川、はじめ見しにはながはであるを見るも、あはれにのみおほえたり。よろづにおほゆることいと多かれど、いともの騒がしくにきははしきに紛れつづあり。ようたでの森に車とどめて、破子など^③みな

人の口むまげなり。春日へとて、宿院のいとむつかしげなるにとどまりぬ。

それより立つほどに、雨風いみじく降りふぶく。三笠山をさしてゆくかひもなく、濡れまどふ人多かり。からうして、まうで着きて、御幣奉りて、初瀬さまにおもむく。飛鳥に御灯明奉りければ、ただ釘貫に車を引きかけて見れば、木立いとをかきとこらなりけり。庭清げに、井もいと飲ま [X] ば、むべ一宿りはすべしと言ふらむと見えたり。いみじき雨りやまさりなれば、いふかひもなし。

(一) 蜻蛉日記

注

- * 按察使大納言……………作者の夫の兼家の叔父藤原師氏。天禄元（九七〇）年逝去。
- * はつかにて……………旅の興を感ずることはわずかで。
- * 細はて……………一周忌。
- * 立てたるもの、このなめり……………立て回した調度類は按察使大納言の遺愛のものらしい。
- * 黒柿の骨に朽葉の帷子……………黒みを帯びた柿の心材で作った骨組みに、黄褐色の絹布。
- * ひとかはさし行きたり……………川一面に様をさして行く。
- * わが心と詣でしたび……………私から思い立って参詣した時。
- * あがたの院……………按察使大納言の別荘。
- * いさり……………網で魚を捕ること。

問 4

② 倫理的選択 とあるが、この選択について述べた次の文の [] にはいる説明として、もつとも適切な箇所を本文中から三十字（語点含む）で抜き出し、はじめとおわりの三文字を記しなさい。解答番号は 5

菜食主義の若者たちの選択が倫理的であるのは、若者たちの判断が [] という認識に基づいているからだ。

問 5

③ この観点の内容として、もつとも適切なものを次の中から選び、その記号をマークしなさい。解答番号は 6

ア 動物が苦しむことができるかどうかという問題
イ 功利主義に基づく人間の幸福の追求
ウ 近代における人間中心主義に対する批判
エ 動物に対する人間の倫理的義務の提唱
オ 快苦を計算した法律や政策の策定の必要性

問 6

④ 専制政治 とあるが、ここで「専制政治」と捉えられたのはなぜか。本文の趣旨から見て適切ではないものを次の中から一つ選び、その記号をマークしなさい。解答番号は 7

ア 人間が動物に比べて強大な権力をもっているから
イ 支配者である人間が独断的に制度を決めているから
ウ 支配される動物は政治的判断に参加できないから
エ 道徳的・社会的問題に対する闘争を引き起こされたから
オ 支配される側の痛みや苦しみが配慮されていないから

問 7

⑤ 狼煙は上げられた の意味として、もつとも適切なものを次の中から選び、その記号をマークしなさい。解答番号は 8

ア 人々に広く知れ渡るようになった
イ 大きな動きを起こすきっかけとなった
ウ 人々の間で激しい論争が始まった
エ 主張が徐々に勢いを帯びるようになった
オ 正しい方向へ導くための提案が掲げられた

問 8

空欄 [X] にはいる語として、もつとも適切なものを次の中から選び、その記号をマークしなさい。解答番号は 9

ア 集合的 イ 支配的 ウ 潜在的 エ 歴史的 オ 組織的

問 9

⑥ スピーシージズムも同じである とあるが、スピーシージズムがレイシズムやセクシズムと同じ社会的装置であると考えられるのはなぜか。その理由を本文中の語を用いて、「から」につながる形で三十字以内で述べなさい。解答番号は 10

問 10

⑦ 変化 とあるが、この「変化」の例として、本文の趣旨と一致するものには ① を、一致しないものには ② を、それぞれマークしなさい。解答番号は 11 ~ 15

① ヴィーガンの人口が増えるに従って、菜食主義者の間で化学肥料や食品添加物の使用等、食の安全に求める基準が厳しくなるだろう
② 畜産業における鶏や牛・豚の飼育環境や飼育方法を気にする消費者が増え、卵や食肉の購買意識に影響を与えるだろう
③ 動物福祉に関する法制度が充実し、ペット産業の適正化やペット飼養者の責任がより厳しく求められるようになるだろう
④ ファッション業界ではダウンやレザー等の動物に依存した素材の使用について、その是非がますます議論されるようになるだろう
⑤ 漁業における海洋汚染や乱獲が取り締まられ、生態系保護のための国際的協調がより強く求められるようになるだろう

第一問【共通問題 現代文】

(一) 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

この冬、2匹の野良猫を保護した。寒波到来の折り突然住み家を迫られ、あるいは大雪で衰弱してしまったところに遭遇し、その場で運命を握ることを決めた。猫など飼ったこととはなく、**A** 難病と障害をもつ私は自力では猫を抱き上げることもできないのだから無茶な話ではあった。だが地域には野良猫を見守る小さなコミュニティのようなものがあり、その仲間たちが助けてくれた。おかげで猫たちは息を吹き返し、今は暖かい部屋の中でくつろいでいる。

元々動物には縁も関心もなかった。それが数年前、夏の滞在先で家主一家の猫と恋に落ち、不思議なことが起こった。街で出会う猫たちが人間のような存在感をもって視界に飛び込んでくる。気がつくとも通行人の肩越しに猫に声をかけている。そんな調子で野良猫との交流が始まった。

異なる国、民族、人種、ジェンダーの人々の中に恋人や友人を得たことで、彼らへの関心や共感が生まれるという話はよく聞く。同じことが自分に起きたと理解した。世界中の猫の幸せを願うようになり、やがて猫以外の動物のことも気になり始める。捕鯨問題についても新たにこう考えた。鯨が友人だと思ってしまった人は実力行使によっても彼らが傷つけられるのを防ごうとするだろう。この動機の前には文化も伝統も経済的利害もどんな理屈も無力である。**B** 最近、欧州で次々と知り合った菜食主義の若者たちの真剣さに気づかなかったことを恥じた。それはファッションでもダイエットでもない倫理的選択だった。

人間中心主義の横断する近代にあって、動物に対する倫理的義務に最初に言及したのは、英国の法学者ジェレミー・ベンサムだ。功利主義の父であり「最大多数の最大幸福」のモットーで有名だ。人間の不幸、つまり快苦を計算し、できるだけ多くの人の幸福の総計ができるだけ大きくなるように法律や政策が作られるべきだと説く。ベンサムは動物も **C** 快苦を配慮される

べき存在だと考えた。動物も人間と同じ倫理的扱いに値する。問題は理性や話す力があるかどうかではなく、苦しむことができるかどうかである。

この観点を押し進め、現代の工場式畜産や動物実験の陰惨な実態を告発し、動物たちの苦痛からの解放を訴えたのが、倫理学者ピーター・シンガールの「動物の解放」だ。1975年6月の同書は、動物の利益を擁護する運動のバイブルとなる。その冒頭は強烈だ。「本書は問以外の動物に対する人間の専制政治についての書物である。この専制政治は莫大な痛みと苦しみをもたらしてきたし、今も引き起こしている……この専制政治に対する闘争は、現代の道徳的・社会的問題をめぐる闘争の中で最も重要なものの一つである」

かくして狼煙は上げられた。動物が苦痛を与えられないことを意味する動物福祉は倫理上の緊急課題となり、さらに法学者も巻き込んだ動物たちの不可侵の権利が唱えられる。最近では政治学者も参入し、市民権の理論を用いて動物が人間の保護を受ける積極的権利が論じられる。一貫するのは感覚や感情、意識をもつ動物を苦しめることは倫理的に許されないとする洞察。これを許すスビーシージズム(種差別)への批判である。劣等とみなされ、モノとみなされた存在への **X** 暴力は人間の間でも行われてきた。近現代には黒人奴隷、そして強制収容所の収容者たちがまさに苦痛を顧みられることなく搾取と虐待、**Y** 殺戮の対象となった。女性や労働者もモノとして扱われる境遇を経験した。支配する側はたいして虐待から利益を得ており、彼らの苦痛を無視できるのは都合だ。そのためイデオロギーあるいは社会的装置としてレイシズム(人種差別)やセクシズム(性差別)が存在した。動物に対するスビーシージズムと同じである。論者たちは知能の低さを理由に動物への仕打ちを是認する考えをとくに批判する。この考えは、幼児や知的障害をもつ人たちも脅かす。シンガールいわく「人間の平等の土台となる倫理的原則は、平等な配慮を動物にも拡張するよう私たちに要求する」。

シンガールの問題提起からおよそ半世紀がたち、動物福祉、動物の権利への支持は大きな波となっている。数年前の調査によると米国人の9割以上が動物への一定の保護に賛成し、3割以上は動物に人間と同じ権利が与えられるべきだと考えている。昨年の英

国の調査では人命と動物の命は同等とする回答者が4割に上った。動物への搾取を一切認めないヴィーガンリズム(完全菜食主義)も先進各国で急速に広まっており、米国人の6%(これは2千万人に相当する)がヴィーガンを名乗り、英国人の3人に1人が関心をもつとする調査もある。EU(欧州連合)の基本法であるリスボン条約では「感覚を有する存在」である動物の福祉を配慮する義務が定められた。動物を守るために欧米では様々な施策が行われており、我が国でも最近、市民団体の尽力で動物愛護法が大幅に改正された。

大波はせき止め得ない。動物との関係の見直しによる生活や産業の変化は必至だ。私たちは皆、少なくとも心づもりをする必要がある。

(豊永郁子「政治季評」朝日新聞2022年7月17日)
朝日新聞社に無断で転載することを禁ずる。承諾番号2310224

問1

a・bの読みをひらがなで記しなさい。解答番号は **a** ① **b** ②

① 横溢 **a** ② 殺戮 **b**

問2

空欄 **A** から **C** にはいる語として、もっとも適切な組み合わせを次の中から選び、その記号をマークしなさい。解答番号は **3**

- ア アしかもーBさらにーCまた
- イ AまたーBしかもーCさらに
- ウ AさらにーBしかもーCまた
- エ AさらにーBまたーCしかも
- オ AまたーBさらにーCしかも

問3

飛び込んでの「飛び込む」の「込む」と意味的用法の異なるものを次の中から一つ選び、その記号をマークしなさい。解答番号は **4**

- ア 呼び込む
- イ 組み込む
- ウ 書き込む
- エ 住み込む
- オ 思い込む